

令和 5 年 度

天草市財政援助団体等
監 査 報 告 書

天草市監査委員

天監第125号
令和6年2月21日

天草市議会議長 中尾友二様
天草市長 馬場昭治様

天草市監査委員 富田善三郎

天草市監査委員 福岡耕二

天草市監査委員 下田昇一郎

令和5年度天草市財政援助団体等監査の結果に関する報告の提出について
地方自治法第199条第7項の規定に基づき、令和5年度の財政援助団体等監査を実施
しましたので、同条第9項及び天草市監査基準第14条第1項の規定により、その結果に
関する報告を提出（公表）します。

令和5年度 天草市財政援助団体等監査報告書(天草陶磁器の島づくり協議会)

第1 監査基準への準拠

本監査は、天草市監査基準に準拠して実施した。

第2 監査の種類

地方自治法第199条第7項及び天草市監査基準第2条第1項第3号に規定する財政援助団体等監査（補助金等交付団体監査）

第3 監査の対象

団 体：天草陶磁器の島づくり協議会
所 管 課：経済部産業政策課

第4 監査実施日時及び場所

実施日時：令和6年1月26日（金）午後1時30分
場 所：天草市役所本庁3階第3会議室

第5 監査の範囲

令和4年度における天草陶磁器の島づくり事業補助金に係る出納その他の事務の執行

第6 監査の方法

天草市が天草陶磁器の島づくり協議会へ交付した補助金が、補助目的に沿って適正かつ効率的に執行されているかどうか、また、所管課の補助金の交付事務が要綱等に則り、適正かつ効率的に実施されているかどうかの主眼をおき、事前に提出を受けた関係書類を基本資料として、関係諸帳簿及び証拠書類との照合による審査等を行うとともに、必要に応じて関係者に聴取するなどの方法により監査を実施した。

第7 団体の概要

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 名 称 | 天草陶磁器の島づくり協議会 |
| 2 | 所 在 地 | 天草市東浜町8-1 |
| 3 | 設 立 | 平成30年6月15日 |
| 4 | 役 員 | 会長1名、副会長2名、監事2名、顧問2名、企画委員11名、外部委員4名、事務局4名 |
| 5 | 会 員 | 31名（事務局除く） |
| 6 | 目 的 | 「天草陶磁器」の知名度向上及び陶磁器産業振興のための事業を行い、陶磁器生産の先進地として、陶磁器の島の確立に寄与することを目的とする。 |
| 7 | 事 業 | |
| | (1) | 天草陶磁器の知名度向上に関する事業 |
| | (2) | 天草大陶磁器展及び関連イベントの開催に関する事業 |
| | (3) | 島内外への窯元・観光告知及びマップ制作、ホームページ「天草窯元めぐり」の更新に関する事業 |
| | (4) | 陶芸家（講師）の招聘に関する事業 |

- (5) 陶芸家の育成及び研修生の受け入れに関する事業及び島外の陶芸家の島内誘致に関する窓口業務
- (6) その他陶磁器産業の振興に関する事業

第8 監査の対象とした補助金

1 天草陶磁器の島づくり事業補助金

島内の若手陶芸家の感性と技術を高めるとともに島内外からの窯元数の増加を促し、天草陶磁器の島づくりを推進し、陶芸家の育成を図る目的で交付されている補助金。

(1) 補助金の概要

ア 補助対象事業等の内容

- (ア) 天草大陶磁器展開催事業
- (イ) 陶芸家交流事業

イ 補助対象費

- (ア) 事業運営費（団体の構成員に対する人件費及び謝礼金を除く。）
- (イ) 事務経費（交際費、慶弔費及び懇親会経費等の食糧費を除く。）
- (ウ) その他市長が適当と認めるもの

ウ 補助額

補助対象経費から会費等の収入を控除した額とし、予算の範囲内で交付する。

(2) 令和4年度 補助金交付額

11,800,000円

(3) 令和4年度 収支決算

(単位：円)

収 入		支 出	
手 数 料	12,388,447	賃 金	1,702,483
参 加 料	891,000	報 酬	560,451
入 場 料	616,437	報 償 費	755,000
販 売 収 入	947,300	旅 費	1,135,517
市 補 助 金	11,800,000	需 用 費	2,498,383
負 担 金	75,000	食 糧 費	274,270
繰 越 金	2,411,610	役 務 費	3,203,127
雑 収 入	70	委 託 料	7,929,784
		使用料及び賃借料	286,860
		備 品 購 入 費	29,700
		事 業 開 催 費	8,378,480
		交 際 費	51,000
		補 助 金	200,000
		租 税 公 課	96,424
合 計	29,129,864	合 計	27,101,479

(4) 天草大陶磁器展 出展窯元数、来場者数、売上額一覧表

回	開催年度	日程	出展 窯元数	来場者数	メイン会場 売上金額	備考
1	平成 16 年度	10/31～11/3	33	10,890 人	4,961,754 円	
2	平成 17 年度	11/23～11/27	63	13,327 人	8,595,095 円	
3	平成 18 年度	11/1～11/5	59	23,795 人	12,988,015 円	
4	平成 19 年度	11/1～11/5	71	26,501 人	15,510,280 円	
5	平成 20 年度	11/1～11/5	69	27,338 人	16,923,320 円	
6	平成 21 年度	10/31～11/4	77	31,928 人	15,524,670 円	
7	平成 22 年度	11/3～11/7	79	39,058 人	17,609,500 円	
8	平成 23 年度	11/2～11/6	78	36,808 人	18,277,180 円	
9	平成 24 年度	11/1～11/5	81	28,553 人	16,939,469 円	
10	平成 25 年度	11/1～11/5	76	28,653 人	18,839,573 円	
11	平成 26 年度	11/1～11/5	86	32,909 人	24,128,109 円	
12	平成 27 年度	10/31～11/4	90	24,545 人	26,166,434 円	
13	平成 28 年度	11/2～11/7	100	21,918 人	32,735,137 円	
14	平成 29 年度	11/2～11/6	110	21,669 人	35,506,875 円	
15	平成 30 年度	11/1～11/6	111	20,207 人	39,945,316 円	
16	令和元年度	11/1～11/5	106	22,773 人	40,281,389 円	
17	令和 2 年度	10/31～11/4	72 対面 33、委託 39	6,115 人	21,603,295 円	新型コロナウイルス 対応窯元数 制限、人数制限等
中止	令和 3 年度	中止				
18	令和 4 年度	11/2～11/6	92	12,842 人	48,923,520 円	
19	令和 5 年度	11/2～11/6	92	14,012 人	52,017,800 円	当初は 96 窯、キ ャンセル 4 窯

【来場者数に関する補足】

※第 16 回までは体育館入り口での数取器によるカウント方式（延べ人数）

※第 17 回から第 18 回は新型コロナウイルス感染症対策に伴う入場シート等によるカウント方式（実人数）

※第 19 回は対前年度に対する決済件数の伸び率により推計

第9 監査の結果等

1 監査の結果

天草陶磁器の島づくり協議会における補助金の執行状況及び所管課である産業政策課の交付事務について、上記第1から第6までの記載事項のとおり監査した限りにおいて、補助金は本来の目的に沿って執行されており、交付事務についても要綱等に基づき概ね適正に処理されているものと認められ、特に指摘する事項はなかった。

なお、協議会の運営や予算管理等の運用に資するため、次の点について要望する。

(1) 支出の基準について

決算を見ると、当初の予算より支出が大幅に超過している項目がある。このことについては、総会等での決算報告時に予算超過した原因など丁寧な説明を心がけていただき、監事のほうからも指摘されているように、適正な支出となるよう支出基準の整備について検討していただきたい。

(2) 看板設置について

令和3年度の事業で看板を作製してあるが、場所の問題でまだ設置されていない状況であるので、今後十分に検討し、設置していただきたい。

2 むすび

天草陶磁器の島づくり協議会は、天草の陶磁器の良さをアピールし、作陶家の人材発掘や技術の向上など天草の陶磁器産業の発展を目指して、平成30年6月に設立された天草市内の窯元を中心に、観光・文化団体、行政関係者等で構成されている団体である。協議会の運営は、天草市からの補助金及び天草大陶磁器展での販売手数料等を主な収入源としている。

事業内容は、天草大陶磁器展の実施、季節ごとの窯元の情報等を掲載した天草窯元たよりの発行、陶磁器の愉しみと人生の楽しみ方を再認識する陶磁器+（プラス）事業等があり、その他ホームページやSNSの運営を行っている。特に主な事業として天草大陶磁器展がある。この事業は旧本渡市の平成16年度から継続されている事業で、令和5年度で19回を数える開催となった。回数を重ねるごとに参加する窯元数、来場者数や売上等、年々実績を上げている。令和元年度までは来場者、売上とも増加していたが、コロナ禍により令和2年度は縮小、令和3年度は中止を余儀なくされた。再開した令和4年度、令和5年度では、以前よりも出展窯元数と来場者は減少したものの、売上は増加している。しかしながら、第1回目の平成16年度と比較すると、出展窯元数も33窯元から92窯元へと参加数も大幅に増えている。また、この事業に併せて、天草のおいしい食材を楽しんでもらおうと開催されている「あまくさ井井フェア」では天草陶磁器が器として使用されており、天草陶磁器展やあまくさ井井フェアを目的として来島する観光客も増え、島外からの誘客による飲食や宿泊などの観光産業へも経済効果が波及している。天草陶磁器の島づくり協議会のこのような活動により、天草陶磁器の認知度は以前にも増して着実に向上してきている。

今後も、「陶磁器の島」として窯元の後継者育成や窯業技術の継承にも力を入れて取り組んでいただきたい。また、組織体制の改善や大陶磁器展等での販売手数料等を伸

ばしながら自主財源の確保を目指し、更なる活動を展開していただき、協議会の発展、陶磁器産業の振興がなお一層図られることを期待している。